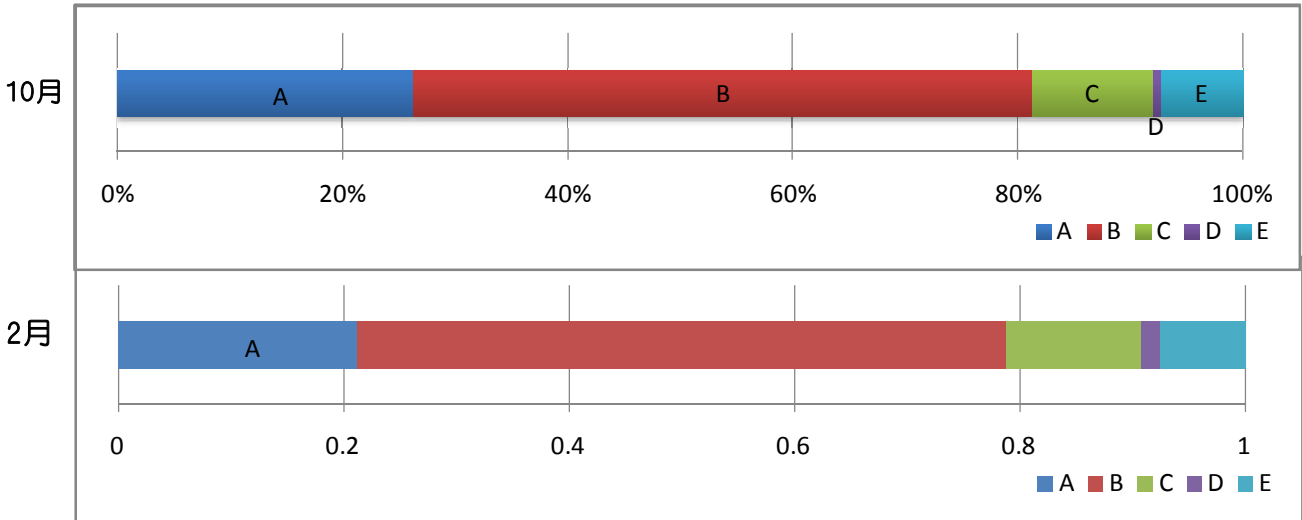


池小教育に関するアンケート 集計

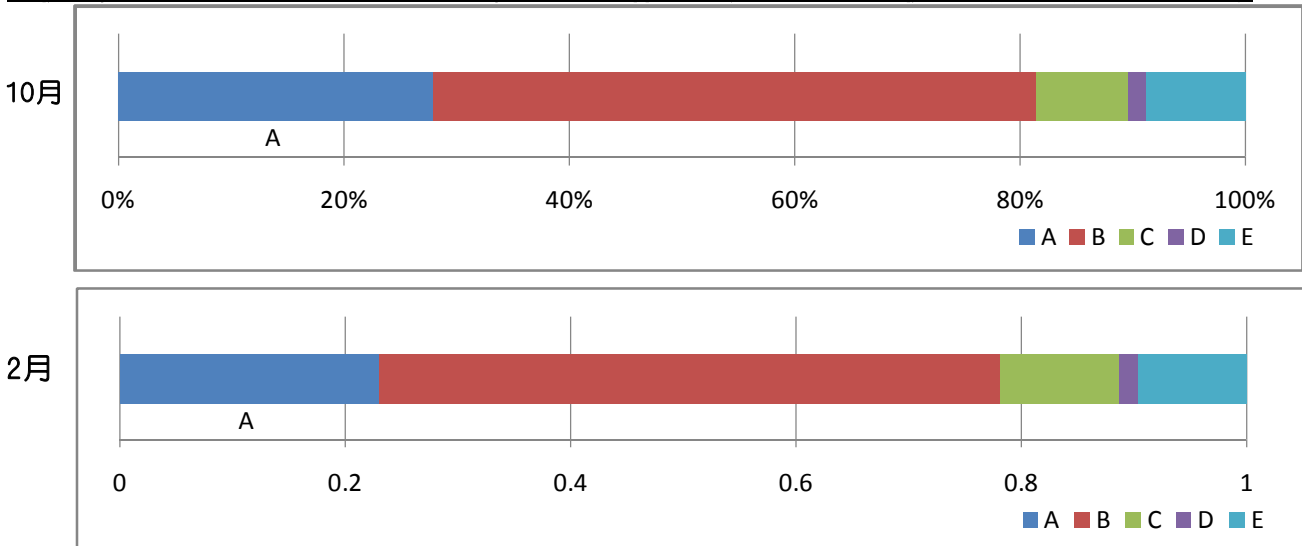
A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない E わからない

学校は、ホームページや学年通信などを通して教育方針をわかりやすく保護者や地域へ伝えている。



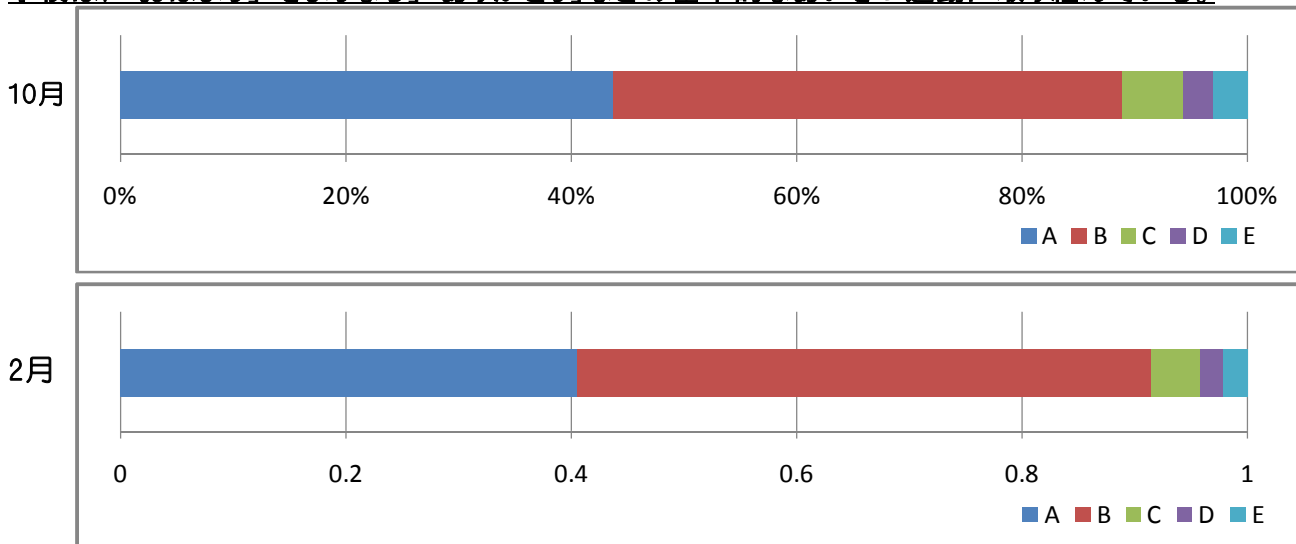
約8割の保護者が、肯定的に受け止めている。10月に比べ、A+Bの割合が低くなり、C+Dの割合が高くなっている。学校から伝える内容・方法について工夫していきたい。E（わからない）と答えた保護者が約8%いるので、特にホームページの更新・発信内容について検討していく。

学校は、子どもたちに豊かな心を育て、いじめや仲間はずれのない学校づくりに取り組んでいる。



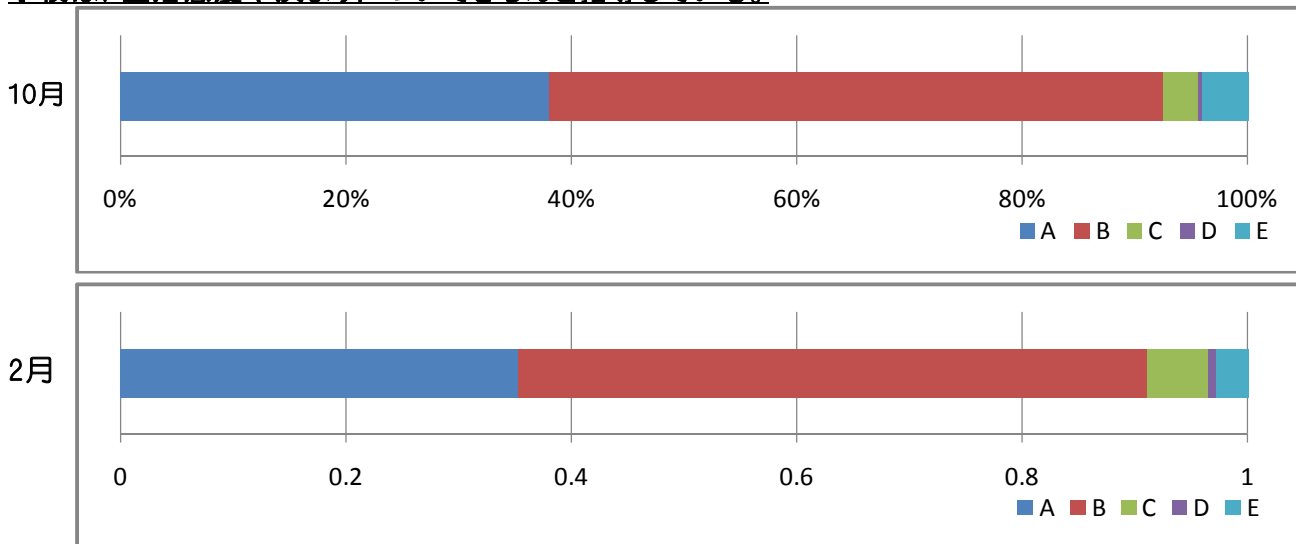
約8割の保護者が、肯定的に受け止めている。10月に比べ、A+Bの割合が低くなり、C+Dの割合が高くなっている。人権学習・道徳教育をさらに充実させていく。平素の子どもたちの様子をよく観察し、教員間で情報交換・情報共有をさらに推進し、いじめ防止に努めていく。E（わからない）と答えた保護者が約1割いるので、保護者との連携をさらに強化していく。

学校は、「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などの基本的なあいさつ運動に取り組んでいる。



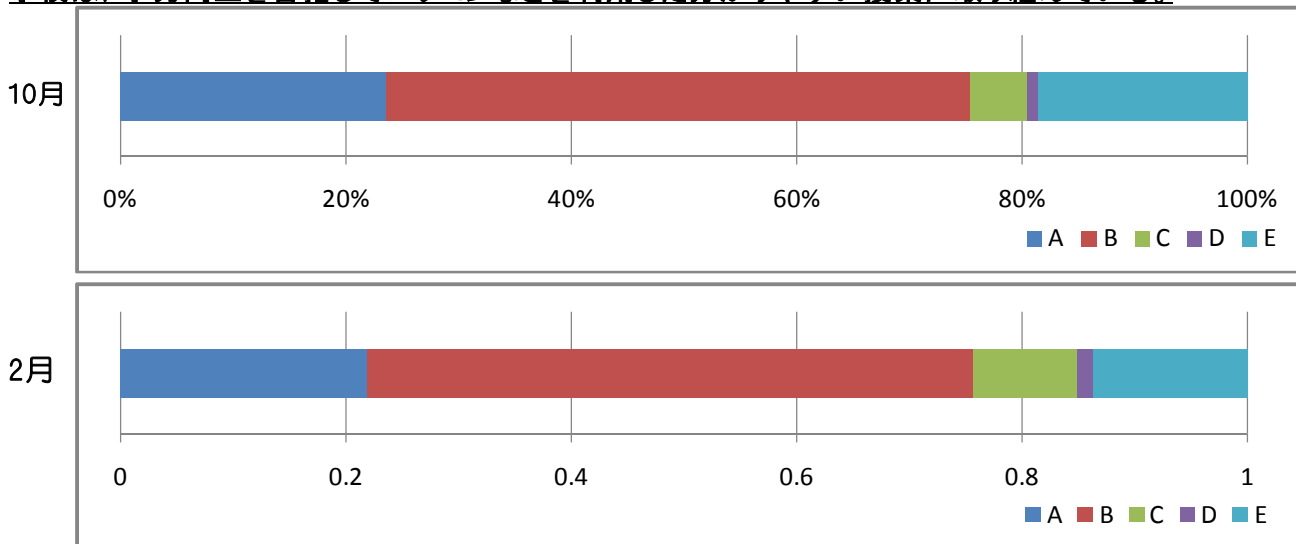
約9割の保護者が、肯定的に受け止めている。10月に比べ、C+Dの割合が1.5%低くなっている。校長を筆頭に児童会等であいさつ運動を継続した結果と受け止める。今後も継続して取り組みを進めていく。

学校は、生活態度や決まりについてきちんと指導している。



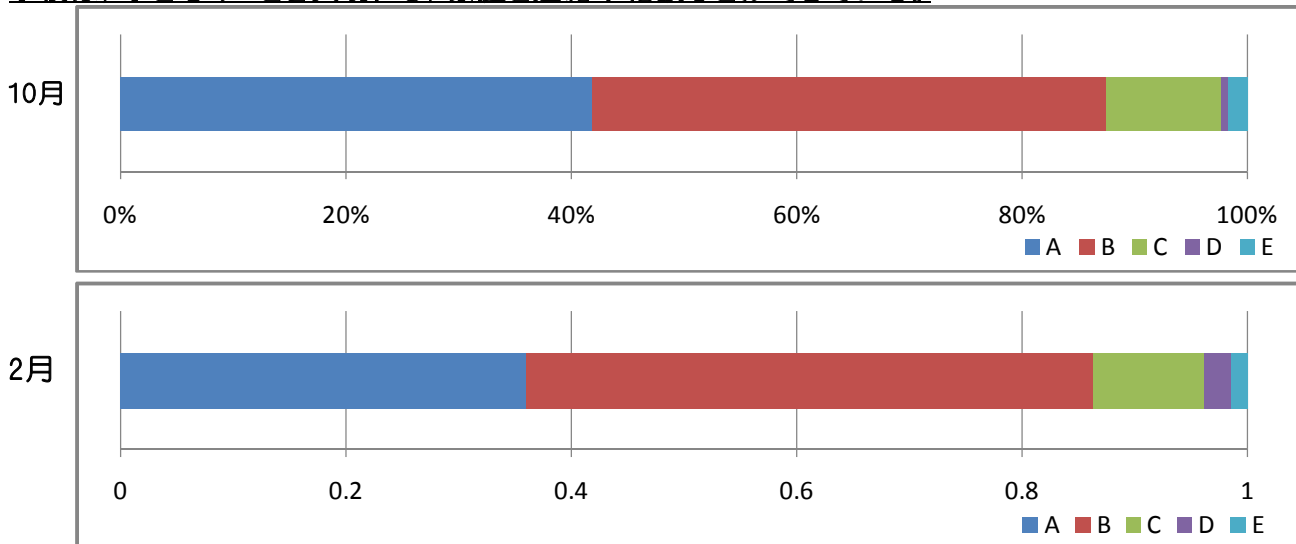
9割を超える保護者が、肯定的に受け止めている。10月に比べ、A+Bの割合が低くなり、C+Dの割合が高くなっている。保護者と連携を図りながら、生活態度やきまりについて周知徹底を図っていく。

学校は、学力向上を目指してパソコンなどを利用した分かりやすい授業に取り組んでいる。



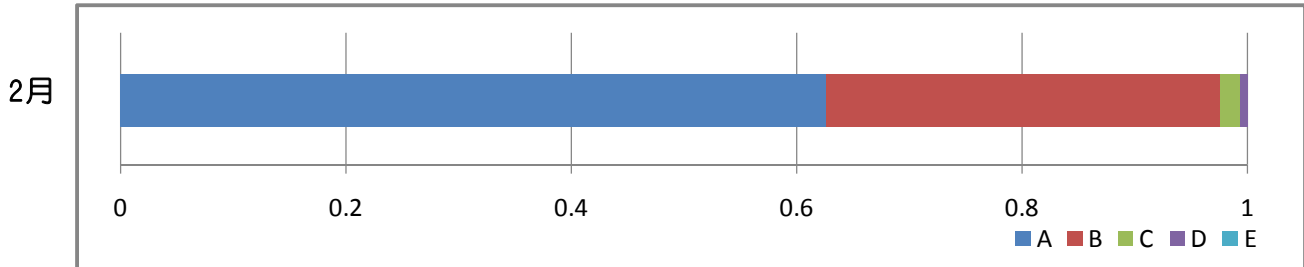
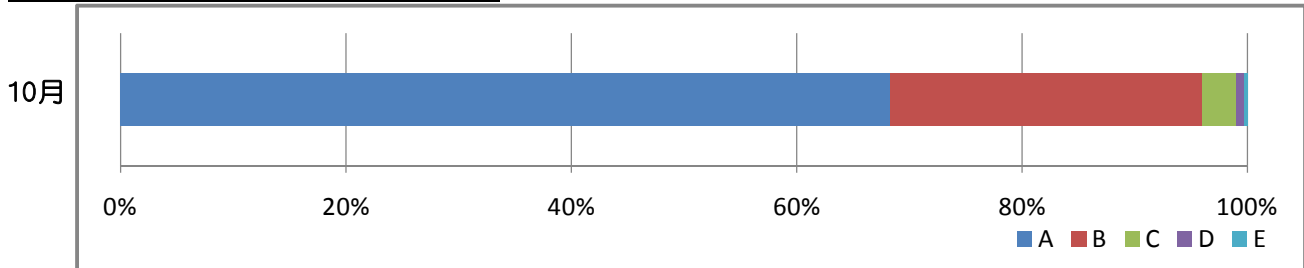
約75%の保護者が肯定的に受け止めている。10月に比べ、A+Bの割合が低くなり、C+Dの割合が高くなっている。E（わからない）の割合が10月と比べ、約5%低くなっている。授業参観の機会等にICTをつかった授業を見ていただいた成果だと考えられる。ただ、依然として1割を超える保護者が「わからない」と答えており、さらに推進させていく必要がある。また、ICT機器の効果的な活用についてさらに研修を充実させていかなければならない。

学校は、子どものことを大切に、家庭と連絡や相談などができている。



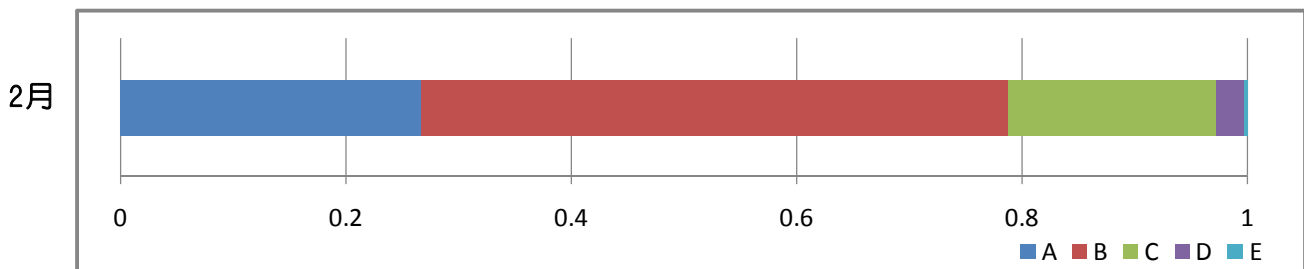
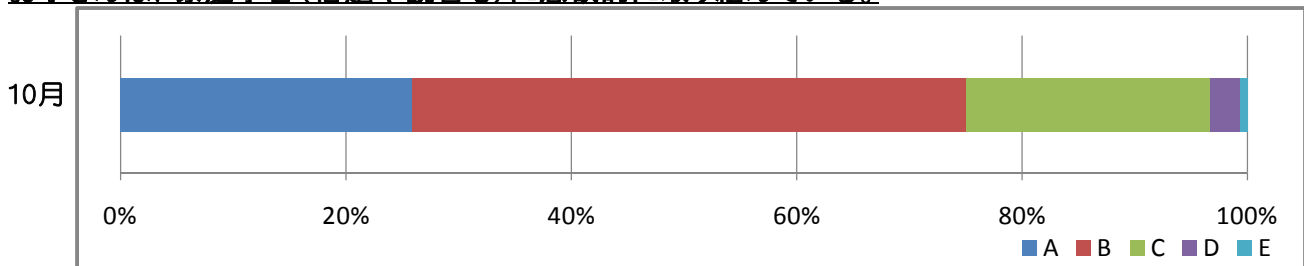
90%近くの保護者が肯定的に受け止めている。10月に比べ、若干A+Bの割合が低くなり、C+Dの割合が高くなっている。子どものよりよい成長のため、さらに連携を深めていく。

お子さんは、学校に楽しく通っている。



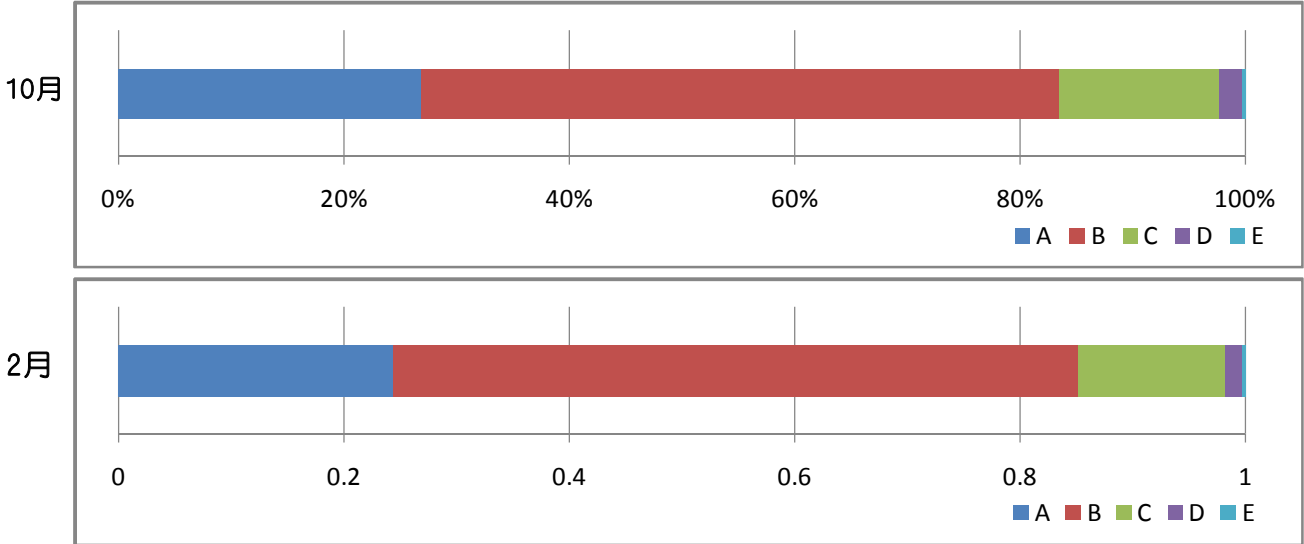
98%の保護者が「子どもは学校に楽しく通っている」と答えている。日々の教育活動の成果であるとする。今後より一人一人の子どもを見つめた教育活動を展開し、C+Dの割合2.4%を0に近づけるたい。

お子さんは、家庭学習(宿題や読書も)に意欲的に取り組んでいる。



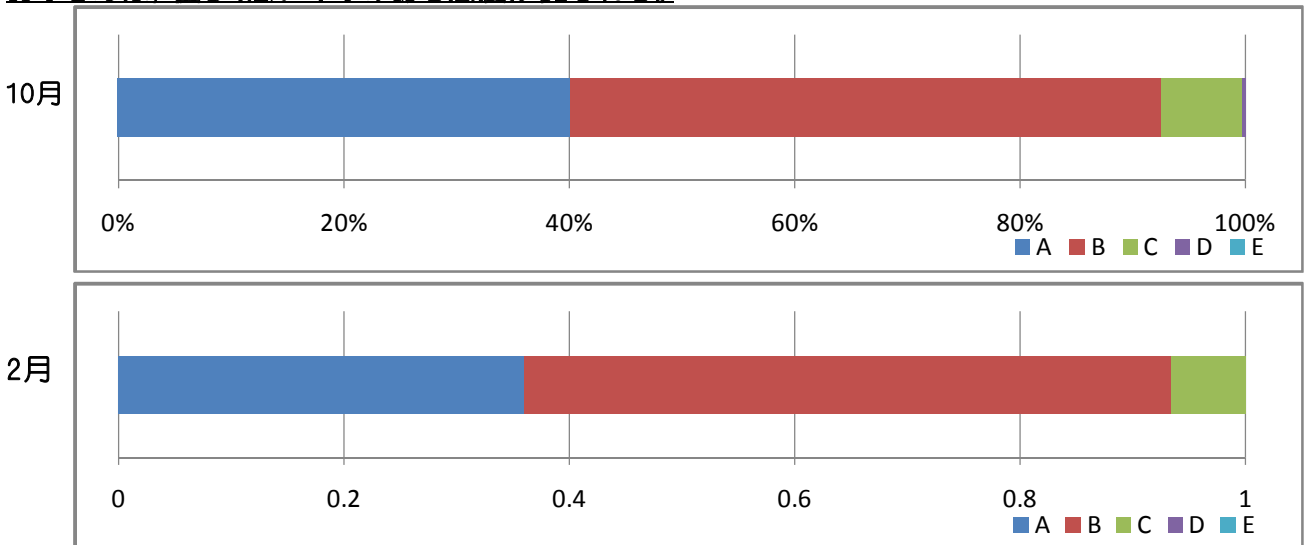
約80%の保護者が「子どもが家庭学習に意欲的に取り組んでいる」と答えている。ただ、C+Dも20%を超えている。学力向上をめざして、家庭と連携協力するために「家庭学習の手引き」「家庭学習のしおり」の見直しを図っていく。

お子さんは、きまりを守ったり、早寝早起きなどの基本的な生活習慣が身についたりしている。



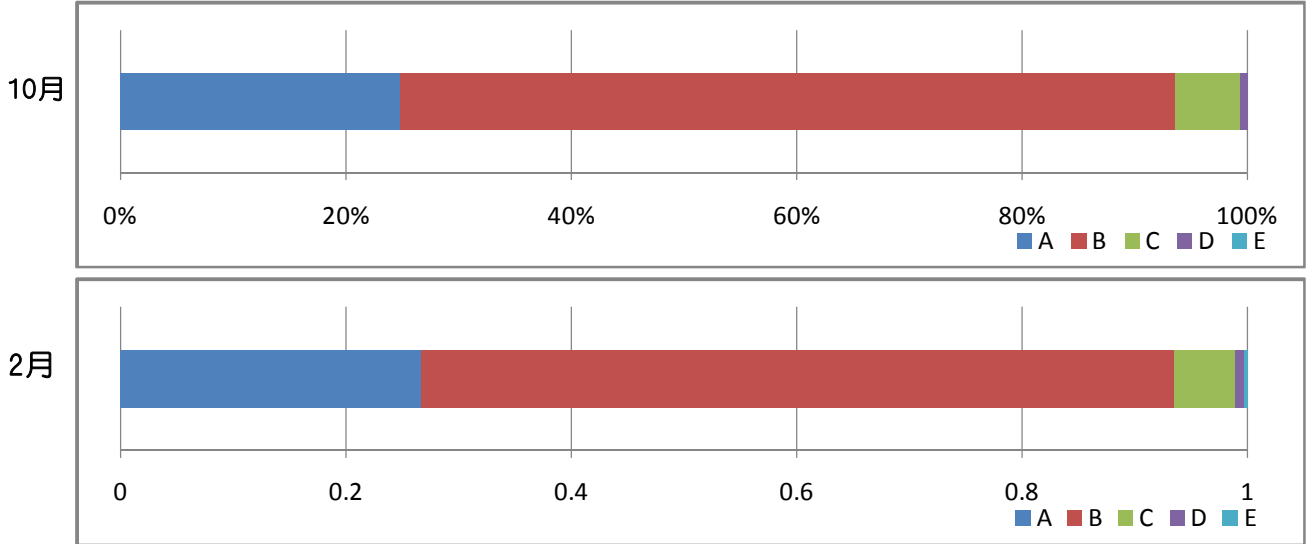
約85%の保護者が、「子どもはルールを守ったり、早寝早起きなどの基本的な生活習慣が身についている」と答えている。10月に比べ、C+Dのポイントが若干下がっている。家庭での生活習慣について保護者が指導してくれた成果と考える。しかし、C+Dの割合が約15%あるので、継続した取り組みが必要と考えられる。

お子さんは、優しく思いやりのある態度が見られる。



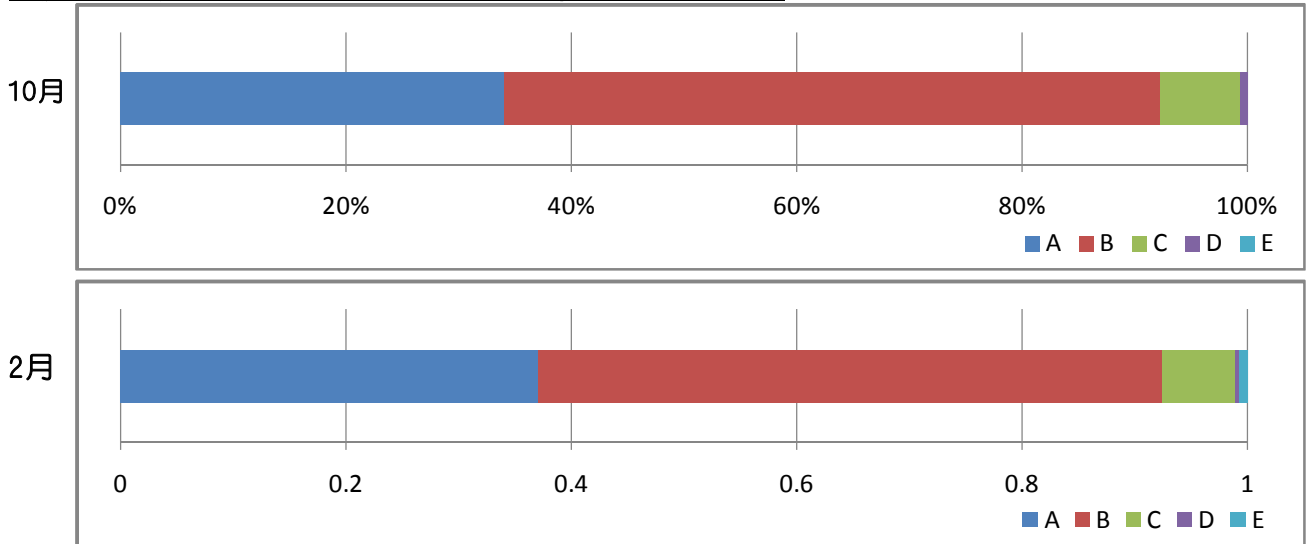
約94%の保護者が「子どもは優しく、思いやりがある」と答えている。若干ではあるが数字は10月より良くなっている。

家庭で、善悪の判断や礼儀、言葉づかい等のしつけや、早寝早起きなどの基本的生活習慣をつけさせている。



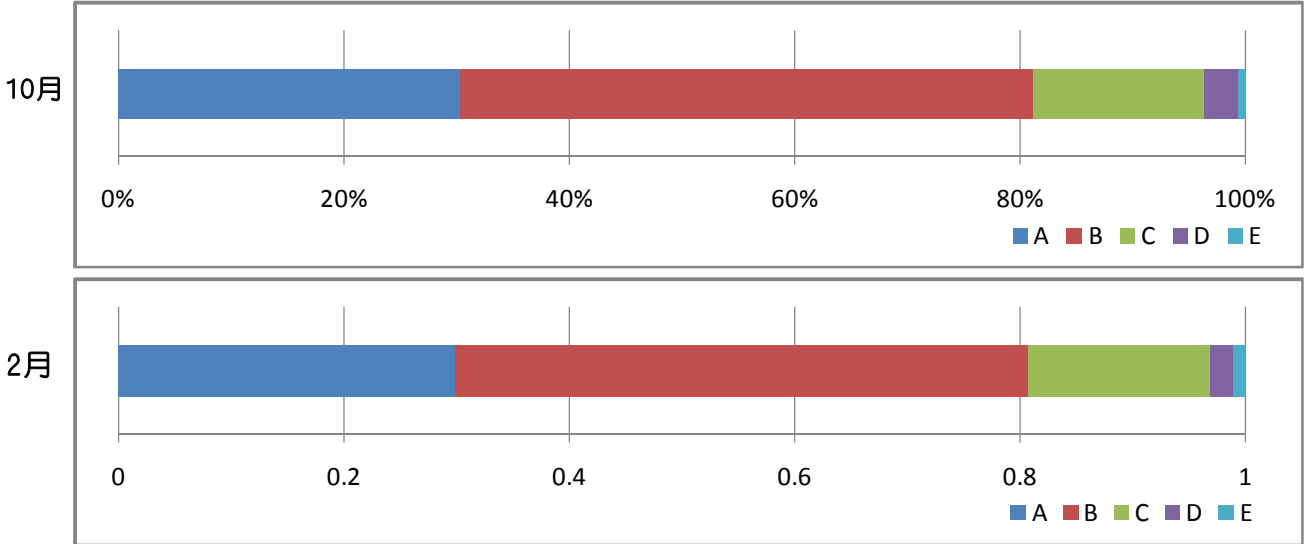
約94%の保護者が「家庭で、善悪の判断や礼儀、言葉遣い等のしつけや早寝早起きなどの基本的生活習慣を身につけさせている」と答えている。

家庭で、学校でのことや毎日の出来事など話が聞けている。



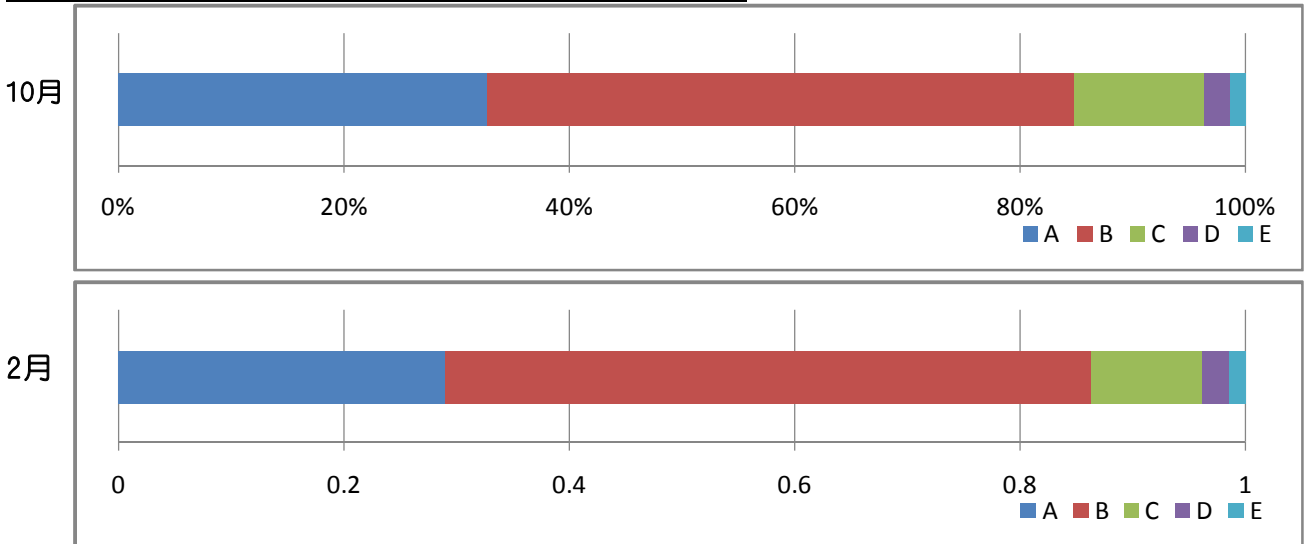
約92%の保護者が「家庭で学校でのことや毎日の出来事など話が聞けている」と答えている。保護者の池田小学校教育に対する関心の高さが感じられる。今後も継続して、子どもたちを温かい目で見守り、賞賛や励ましの言葉をかけていただきたい。

家庭で、子どもに家庭学習が定着できるようにしている(宿題や連絡ノートをみている)。



約80%の保護者が「家庭で子どもに家庭学習が定着できるようにしている」と答えている。子どもの教育への関心の高さが感じられる。ただ、約18%の保護者が「そうではない」と答えている。子どもたちに生きる力を身につけさせるためには、家庭での学習習慣の定着が必要です。そのためには、保護者の協力が必要です。「家庭学習の手引き」「家庭学習のしおり」の見直しを図り、保護者（家庭）と協力できるようにする。

学校行事に参加したり、担任の先生と連携がとれている。



約86%の保護者が、「学校行事に参加したり、担任の先生と連携がとれている」と答えている。学校行事等のたびにたくさんの保護者の方の参加・協力を得られており、とても感謝しています。ただ、約12%の保護者が「そうではない」と答えている。より、保護者の参加を得やすいよう工夫したり、懇談・連絡等を通して、さらに連携を深めていきたい。